

MARCH

TEMPLE'S SCHEDULE

SUN

MON

TUE

WED

THU

FRI

SAT

						01
02 10:30 KIDS SANGHA 11:00 SHOTSUKI (E) 13:00 SHOTSUKI (J) JSBTC AGM FUNDRAISER PIE SALE	03 10:00 KARAOKE	04 10:00 MOMIJI WEST GROUP EVENT	05	06 10:00 TAI CHI	07	08
09 10:30 KIDS SANGHA 11:00 REGULAR 13:00 SANGHA MTNG 15:00 GANBARE MOVIE	10 10:00 KARAOKE	11 10:00 JAPANESE NEW GROUP HISIO COOKING	12 10:00 JAPANESE NEW GROUP MISO MAKING	13 10:00 TAI CHI 14:00 MOMIJI CONGREGANT EVENT	14 19:00 PROJECT DANA EVENT	15
16 10:30 KIDS SANGHA 11:00 OHIGAN	17 10:00 KARAOKE	18 10:00 MOMIJI WEST GROUP EVENT	19	20 10:00 TAI CHI 19:00 MEDITATION GROUP	21 19:00 BUYO	22
23 10:30 KIDS SANGHA 11:00 REGULAR	24 10:00 KARAOKE	25	26	27 10:00 TAI CHI	28 10:30 JAPANESE NEW GORUP YOGA 19:00 BUYO	
30 10:30 Kids Sangha 11:00 Regular 13:00 TJGC Event	31 10:00 Karaoke					

仏教青少年国際文化交流プログラム

(YBICSE) 日本研修旅行

本研修旅行は、北米、ハワイ、カナダ、南米からの青少年が集い、日本の文化に触れながら、浄土真宗のみ教えを学ぶ貴重な機会です。

西本願寺や親鸞聖人ゆかりの地を訪問し、広島では平和学習プログラムに参加する予定です。また、世界各地の仏教青少年との交流を深める機会も設けられています。

旅行日程

二〇二五年六月二十九日～七月十日

費用

CDN 一千ドル + 航空券代(約 一千八百六十～二千六百五十ドル ※二月十六日現在)

参加資格

- ・浄土真宗の門信徒(メンバー)
- ・高校生(十五～十八歳)
- ・健康であること

申込締切

二〇二五年四月一日

詳しい申し込み方法につきましては英語版のニュースレターをご覧ください。



日系カナダ人生存者健康福祉基金

日系カナダ人生存者健康福祉基金のお申込み締め切り日は2025年3月31日です。ご親族やお知り合いの方々や海外にお住まいの生存者の方々にも知っていただくため、情報拡散には非ご協力お願いします。

Japanese Canadian Survivors Health & Wellness Fund



生存者とは、1949年4月1日より前に生まれた日系人で、1940年代のBC州政府の措置により直接影響を受けた方です。生存者は強制収容所へ行かなかった方も含まれます。

現在カナダ国外にお住まいの生存者の方も含まれます。助成金の事をまだ知らない生存者の方々がいると思われるので、お心当たりがある方は、是非ともお声がけください。

皆様のご協力に感謝いたします。

詳細が必要な場合は、アバゲイル・カタオカまでお問い合わせください。

Email: Abigail.Kataoka@jcwelness.org

Phone: 647-708-2160

新移民向けイベント

・GANBARE & YOII ロハニーイベント
映画『花束』無料上映会(要申込)

日時: 三月九日(日)

開場: 午後二時

上映開始: 午後三時

「花束」は俳優・タレントとして多方面で活躍するサヘル・ローズさんが監督を務めた作品です。児童養護施設で育った8人の少女が語る言葉とは? そして彼等自身が自らの思い出を表現していく。ドキュメンタリーとノンフィクションを融合させた実験映画。GANBARE & YOIIは、サヘル・ローズ監督が贈る魂のメッセージを一人でも多くの方に届けたいと願い、今回の無料上映会を開催いたします。ぜひご覧ください。また、会場にはスイーツなどのベンダーさんが出店しています。子供用のクラフト&ゲームブースや暮らしの情報ブースもあります!

・日本語で安らぐヨガクラス

日時: 三月二十八日(金)

午前十時半～十一時半

参加費十ドル(定員十二名) 要申込

toyossa@hotmail.com

インストラクター TOYOKO

(全米ヨガライアンス認定講師) 指導歴七年

枕経について

ご家族の枕経を検討されている場合は、事前に当寺院の事務所へご連絡いただくようお願いしております。

ご希望の時間を調整し、亡くなられる前であれば、ご一緒に臨終の仏徳讃嘆のお勤めを、亡くなられた後であれば、故人を偲びながら、ご家族の皆さんと仏徳讃嘆のお勤めをさせていただきます。

当寺院に事前にご連絡いただくことによつて、ご家族の質問への対応や必要な情報を提供することが可能となります。

枕経についての連絡、質問については、(416) 534-4302

あるいは、<thc@thc.on.ca> (まで)ご連絡いただけます。

留守の場合はメッセージを残していただき、担当者が折り返し対応させていただきます。

トロント本願寺 理事会

年次総会延期のお知らせ

二〇二五年一月二十六日に予定していましたが、トロント本願寺の年次総会は延期となりました。現在日程を調整中です。

トロント本願寺 理事会

祥月法要のお知らせ

祥月法要とは、祥月命日（故人が往生された月のご命日）をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの仏徳を讃嘆し、報謝の思いでお勤めする法要です。

日時：三月二日(日) (英語：午前十一時から)

(日本語：午後一時から)

場所：トロント本願寺

※英語法要のみZoom配信をさせていただきます。

Zoomでの参拝を希望される方は、その旨を<thc@thc.on.ca>までお知らせください。

寺院事務所からZoom Link を送らせていただきます。

故人が祥月でない方もご遠慮なくご参拝下さい。

※四月より日本語の祥月法要の時間が変更となります。

十時半からのキッズサンガの後、十時四十五分より日本語法話、引き続き十一時から英語法要にも参加していただく形になります。法要後には地下のソーシャルホールにてメンバー同士の交流を楽しんでいただければと思います。



寺院会費について

年度が変わりましたため、寺院会員の登録をお願いしています。詳細は英語のニュースレターをお読みいただければと思います。

あらゆる経費が増加する中で今年度の会費とニュースレターの購読料の値上げを見送ることはできないと考えています。皆様にはご理解いただき、み教えを広め続けることができるよう引き続きの寺院活動への支援とご協力をお願い申し上げます。

駐在僧侶着任のお知らせ

十月の祥月法要のゲストスピーカーとしてトロントに来てくれた杉浦輝（すぎうらひかる）先生が今年の四月より、私と一緒にトロント本願寺の駐在僧侶として働いてくださることが決まりました。

杉浦先生は、私と龍谷大学の大学院生の頃に共に浄土真宗の教えを学んだ仲間です。私はカナダに留学、彼は浄土真宗における儀式的専門機関にて学びを得るために大学院を休学していたため、一緒にタイミングで大学院に入学して大学院を修了した唯一の同期でもあります。

これからトロント本願寺の一員として、二年間、皆さまと共に念仏の道を歩まれることを心より嬉しく思います。

佛心

二〇二五年三月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

なぜ、法名を私たちは受け取るのでしょうか。



私は最近、英語で書かれた『浄土真宗ハンドブック（一般門信徒向け）』を読み始めました。この本は、一九八二年に本願寺インターナショナルセンターから発行されたもので、二百四十二の質問が収められています。それぞれの質問に目を通しながら、まず自分ならどのように答えるかを考えた上で、当時の本願寺による公式の回答を確認しています。

この本が出版されてから四十年以上が経っているため、一部の翻訳には現在ではあまり使わない言葉も含まれています。しかし、浄土真宗の門信徒として知っておくべき重要な問いが多く取り上げられており、私たちが耳にしたことはあっても、その意味を十分に理解していかもしれない言葉について考える機会を与えてくれます。

今月の仏心では質問のうちの一つを選び、当時の本願寺インターナショナルセンターの回答と私自身の理解をこの記事で共有したいと思います。

本願寺ハンドブック（一九八二年）

帰敬式を受ける際、ご門主より法名（仏教徒としての名前）が授けられます。法名には「釈」の字が冠され、これは私たちが仏法に帰

依したことを示しています。「釈」（サンスクリット語の Sakya）は釈尊の名に由来し、釈尊の教えを通じて阿彌陀仏の本願の法に出会い、釈尊の弟子として数えられることを意味しています。したがって、法名は真実を受け入れた証といえます。

この法名は、できるだけ健康で若いうちに受けることが望ましいとされています。また、浄土真宗では、受ける名前を「法名」といい、「戒名」とは呼びません。なぜなら、私たちの宗派には守るべき戒律が存在しないからです。

橋本（二〇二五年）

法名とは、阿彌陀さまのはたらきに出会い、そのみ教えの中で生き、仏弟子となったことを表明する一つの形です。

私たち浄土真宗では、帰敬式というお釈迦さまの弟子として仏、法、僧の三宝に帰依することを誓う儀式を受けることでその法名が授与されます。

「釈〇〇」と「釈（しゃく）」の下に二文字の法名を付けます。釈の字はお釈迦さまの釈からきていて、釈迦の弟子であるという意味であります。ですから法名は決して死後にいただくのが一般的なわけではありません。生前に帰敬式を受けるご縁のなかった方がお葬式の場で法名をいただいているのです。

親鸞聖人は阿彌陀さまのおはたらきによって信心を獲た者は必ずこの上のないさとりを開くことができることから「真」の仏弟子であるとお示しになりました。私たちは今、幸いにして阿彌陀さまの教えに出会い、念仏の生活を送ら

せていただいています。煩惱具足のこの私に「まかせよ、そのまま救う」の南無阿彌陀仏によって救われていく教えであります。その教えによって、日々の生活の中で念仏を称え、このいのち終える時には仏とならせていただくという道を今歩んでいるのです。

法名とはその仏道を歩むという自覚をもたせる名であるといえるでしょう。法名をいただくということは、単に形式的な名前の授与ではなく、私たち一人ひとりが仏道を歩む者としての自覚を持つための大切な契機です。この名前は、阿彌陀さまの慈悲に包まれながら、「真」の仏弟子としての道を進む決意を表すものであり、生涯にわたって心の道しるべとなります。

トロント本願寺 駐在僧侶 橋本顕正

辻栄さん ご往生のお知らせ

トロント本願寺の初代開教使である辻顕隆先生のご夫人、辻栄さんが、二〇二五年二月十四日、百歳と半年でご往生されました。

昨年十一月、カリフォルニアでの研修中に栄さんとお会いし、お話をさせていただく機会を得たことは、トロント本願寺の僧侶として大変光栄なことでした。辻先生とともに、開教当初の困難な時期を支え、トロント本願寺の発展に多大なご貢献をされました。

ご往生の報に接し、阿彌陀さまのご縁を喜ばれ、念仏とともに生きられたことに深く敬意を表します。 合掌